

# 災害公営住宅の整備事例① ～共助スペースの設置～ (福島県相馬市 狐穴地区)

10-12

入居希望者の意向を反映し、共同住宅を特徴ある井戸端長屋として整備

- ・被災高齢者の孤独状態を防ぐ共助生活住宅
- ・一同に会して夕食をとる食堂エリアや団欒の場となる畳コーナーのある共助スペースを設置

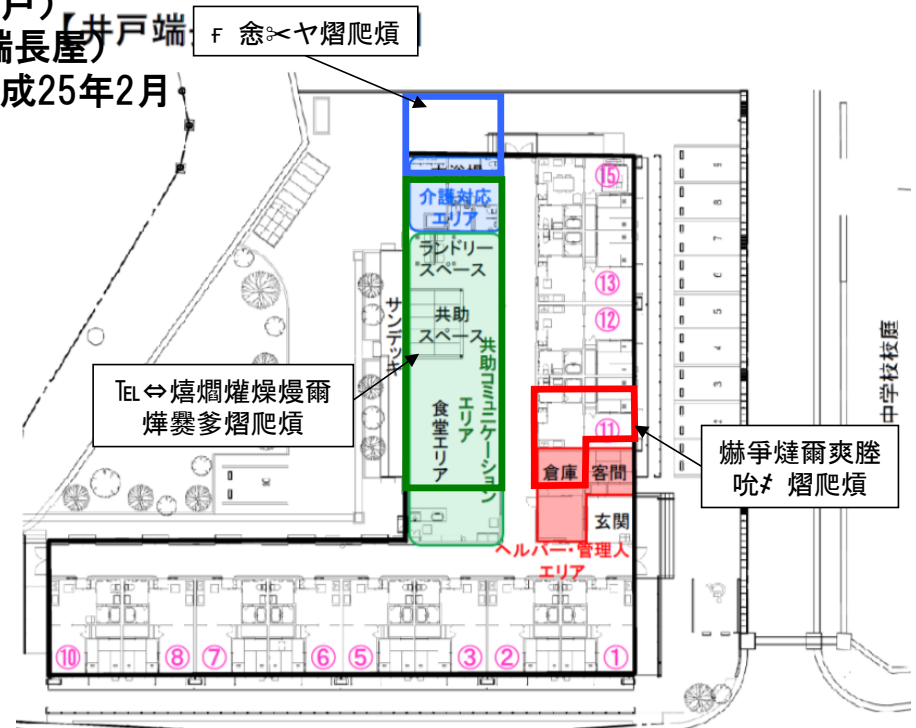


井戸端長屋 外観

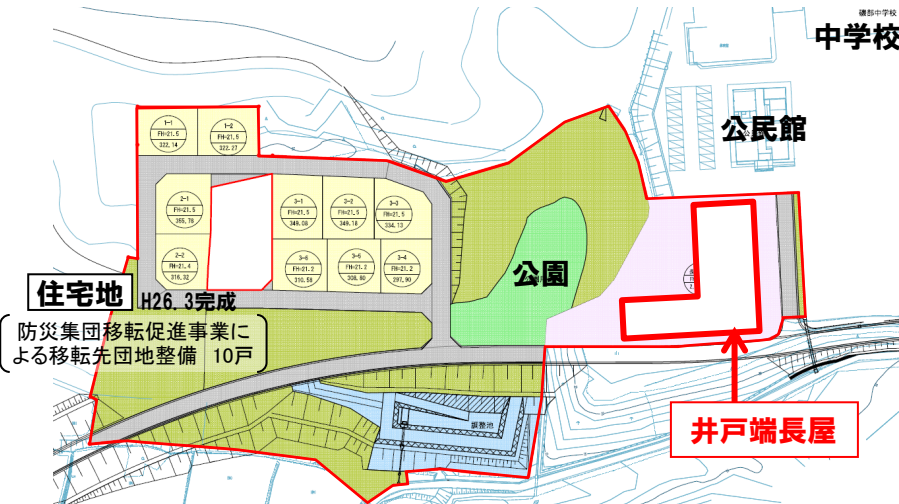


### 【災害公営住宅の概要】

- ・地区名：狐穴地区  
(磯部狐穴地区住宅団地)
- ・整備戸数：12戸  
(共同住宅1棟12戸)
- ・構造階数：木造平屋 (井戸端長屋)
- ・工期：平成24年3月～平成25年2月
- ・事業主体：相馬市



井戸端長屋 平面計画



狐穴地区 配置計画

# 災害公営住宅の整備事例② ～住民参加型～ (宮城県岩沼市 玉浦西地区)

被災した沿岸部の6集落の集団移転先。千人規模の移転先としては最も早く整備が完了し、平成27年7月にまち開きを開催。

学識者や移転対象者等からなる検討委員会、住民参加のワークショップ等を開催し、住民に寄り添ったまちづくりを実施。

高齢者にやさしいユニバーサル動線の確保、広場を囲むように住戸を配置し、緑道で広場をつなぐことで、高齢者や子供の「みまもり」にも配慮。

「第27回住生活月間功労者表彰式」国土交通大臣表彰を受賞。

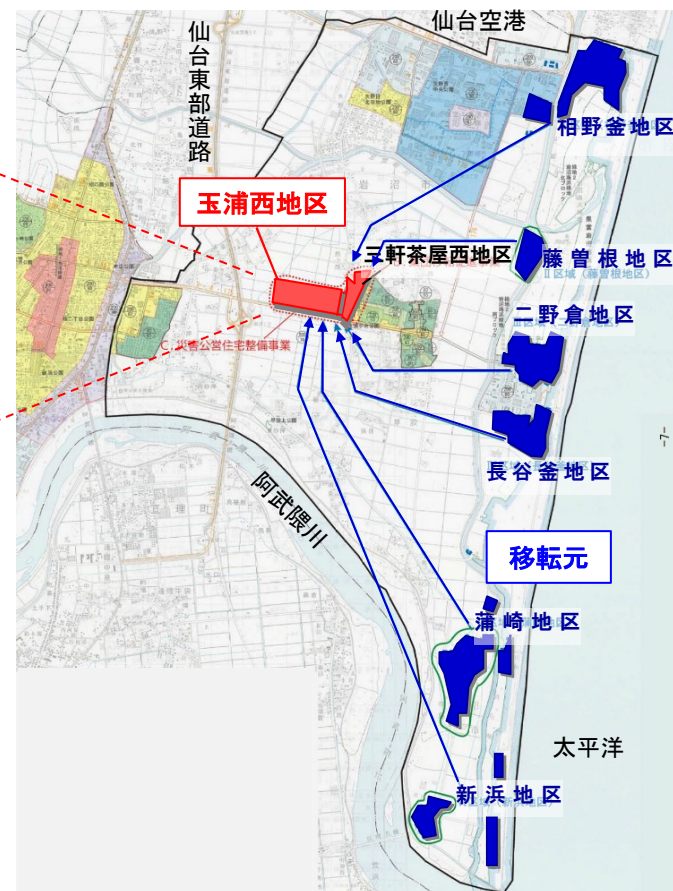
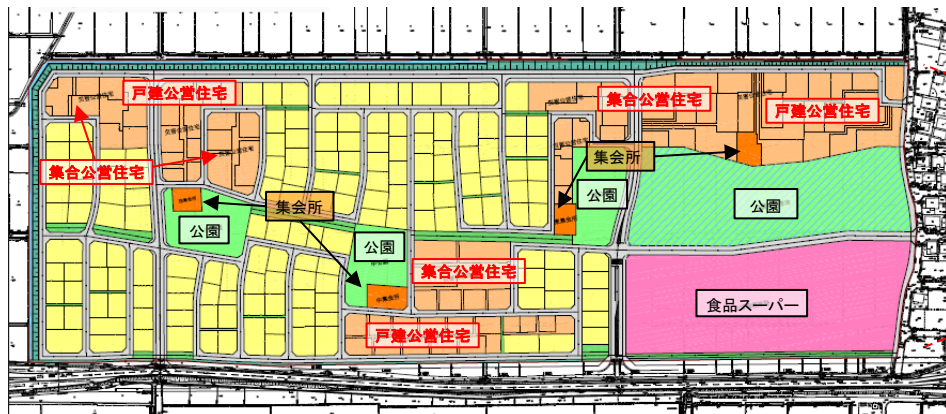
## 【災害公営住宅の概要】

- ✓ 整備戸数：210戸  
(内訳：共同36戸、長屋167戸、戸建7戸)
- ✓ 構造階数：共同 木造2階  
長屋 木造1～2階  
戸建 木造1～2階
- ✓ 工期(建築)：平成26年3月～平成27年3月
- ✓ 事業主体：岩沼市

## 【位置図】



## 【計画図】



災害公営住宅の整備状況



“まち開き”の状況(平成27年7月)

# 災害公営住宅の整備事例③ ～工期短縮の取組～（岩手県釜石市 上中島地区）

工期短縮を図るため、  
薄板軽量形鋼造（スチールハウス）を採用

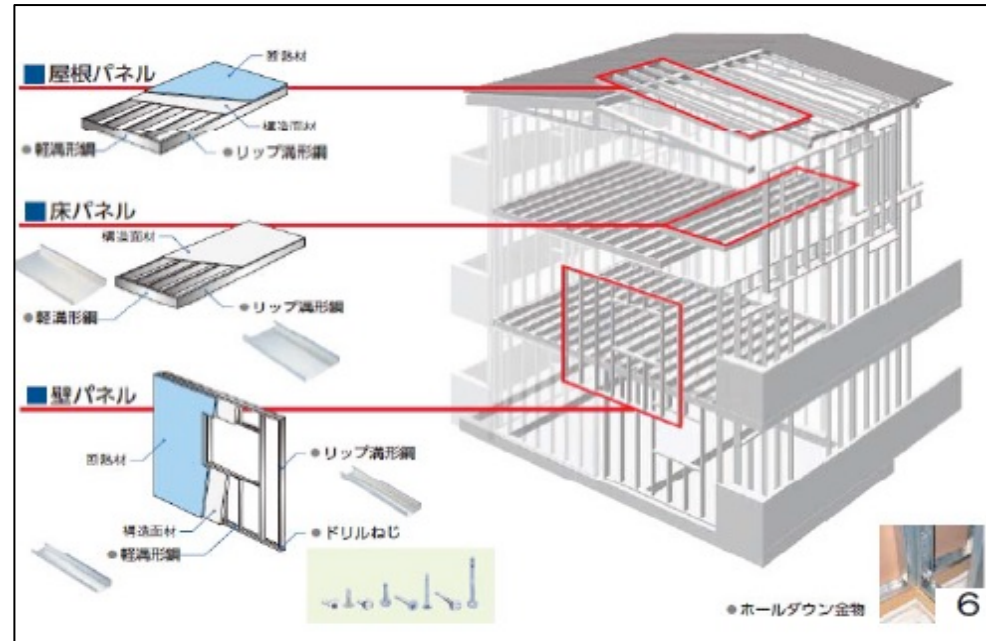
## 【災害公営住宅の概要】

- ・ 住宅名称：釜石市営上中島復興公営住宅（I期）
- ・ 事業主体：釜石市
- ・ 戸数：54戸（1LDK18戸、2LDK36戸）
- ・ 構造階数：薄板軽量形鋼造（スチールハウス）、地上3階建
- ・ 工期：平成24年10月～平成25年3月（約5.5ヶ月）

## 【位置図】



## 【薄板軽量形鋼造のイメージ】



災害公営住宅 外観

## （特長）

- ・ 短工期
- ・ 低コスト
- ・ 耐震性、断熱性が優れている等